



## 文福に入ってから今まで。

文福アルバイト 天木 将哉

初めまして、なんか書いてくれとお願いされたので書こうと思います。自分は文章能力、国語の力が全くと言っていいほど欠落しているのでそこは温かい目で見ていただけると幸いです。

自分が文福に入ったのは、大学1年の頃八木さんが大学の講義にいらして講義をして下さり、最後にバイト募集してますと言われ後日面接に行ったのがきっかけです。講義の内容に関して、もう5年くらい前のことだから全然覚えてないですが、興味を持ったからやってみようと思ったんだと思います。

最初自分の中の介護、介助はたくさん人がいてスタッフが少なく、てんでこ舞いというイメージでしたが、文福は1対1で利用者の方と接することができるので、そこはすごくいいところであると思います。何か困ったことがあればすぐ対応できますし、コミュニケーションも取れるのでとても良いと思います。

文福では、ザ・カイジヨで介助に関する知識を座学や実際に外で車椅子を引いて身に付けることができます。自分達が何気なく歩いている道や利用している施設、それが車椅子を利用するだけでどれだけ不便になるか思い知らされました。これは実際に経験して良かったと思います。

大学3年生の時、自分はうつ病を発症してしまいました。まさか自分になるとは思いもしませんでした。なってみると本当に辛い。ていうか辛いという言葉で表せないくらいです。大学にも行けなくなり、文福にも行けなくなってしまいました。

大学は1年休学することにして実家の愛知県で休養することにしました。

愛知ではだいぶ身体が楽で、何かアルバイトをしようと思い夜勤の介護のアルバイトをしました。ですが、そこは文福のようなコミュニケーションを

取る暇も利用者さんの顔もろくにみる時間もないくらい 1 人で色々させられました。

自分は、この経験をして文福の良さに改めて気づかされました。

そんなバイトは速攻でやめました。(笑)

そして、それからしばらくして富山でアルバイトだけして復学までいようと思い。もう一回働きたいとお願いしたら快く了承してくださいました。本当に文福はええところやなあと感じました。

まあ、そこから大学に行くのが苦しかったですがなんとか卒業しました。

それから最近就職を急いで決めたのですが、自分の心と身体に合わないものを選んでしまいやめてしまいました。

〔余談ですが、うつになると以前の自分とは全く別物になります。出来ていたこと、特に気にしていなかったことが出来なくなったり気になったりしてしまいます。また自己嫌悪、死にたい気持ちも強くなります。今も自分はそれと戦ってます。皆さん、自分の心と身体大切にしてください。〕

その時もまた文福で働かせて頂けないかと頼みました。なんとも凶々しいやつですよ。(笑)

でもまた快く受け入れてくださり本当に涙が出そうくらいでした。

何を書いたらいいかわからなくて、ここまで自分の事ばかり書いてしまった気がします。すみません。要するに文福は、温かい場所で他の所にはあまり無い、利用者の方と 1 対 1 でコミュニケーションを楽しめる良い場所だと自分は思います。





## kaokaoのつぶやきNo.1

富山に移り住んで1年間が過ぎて・・・

私が魚津市から富山市に移り住んで早1年間が過ぎようとしています。

この文章が皆さんの目に触れる頃には1年が過ぎています。

この1年間は無我夢中で過ごしてきたと思います。魚津市のヘルパー支援と富山市のヘルパー支援のシステムというか、仕組みの違いに驚いたり戸惑ったりしましたが、それも今ではすっかり慣れました。

あっ、そうそう先日、母に会いに実家へ行って来たのです。そしたら広告代理店をしている弟が、これから事務仕事を母の側でできるように実家を片付けていました。母が淋しがるからだそうです。

母の側に居てあげる事ができない私にとっては弟に感謝ですよ！

それでもって、私と母の寝室だった壁に貼ってあった私の物が、壁からキレイに剥がされ袋に入れられてありました。

弟は「これ、いるがか？いらんがか？いる物があったら持って行け！」と私につっけんどんに言ったのです。

その時、私は思いましたね。『ああ、この家は私の家ではなくなったのだなあ。富山の借家が私の家なんだなあ。』と改めて痛切に感じました。

そして、その私の物はゴミ箱に捨ててきました。

頭の中では『私はもうこの家で生活できないし、帰ってきたとしても日帰りが精一杯！だから仕方がない！』そう言い聞かせ納得しているつもりなのに、その事を自分の中で消化しきれていないのでしょうかね！何だか雨雲が心に広がっているような、どんよりとした気持ちになりました。

が、そんなセンチメンタルな想いに浸っているわけには行きません。実家の母を頼ることが許されなくなった私です。

心のたすきを締め直して、富山での生活をしていきたいと思っています。

私に関わって下さる沢山の皆さん、今後ともよろしくお願ひします。

2017年11月2日 記

(今号より「kaokao」と「Penko」は月代わりで連載します。)

## 「病院に入院する時は一筆を！」

八木勝自

この頃、文福の事務局長をやっている河上さんと理事長をやっている私は首が痛い痛いと言っています。私の場合は、医者に診せたところただの首の捻挫でこの一か月以上寝たきりの状態になって、本や新聞も読めず、ましてや仕事はできず、たとえ車いすに座ったところで首が痛くて首を自分では動かさない状態でしたが、4、5日前から少し良くなって外出ができたり、車いすも自分で動かすことができるようになりました。

一方、河上さんの方は、脳性麻痺という障害が加齢も加わって2次障害で首の手術をしなくてはいけないことになり、金沢の病院に入院して手術を受けることになりました。

しかし、首の手術というのは一歩間違えば寝たきりの状態になったり、命に関わる状態になると私は思っています。

そこで、これは河上さんだけではなくて病院に入院する全ての人に言いたいのですが、病院に入院する時は、一筆、どこまで最悪医療を受けるか書いておいた方が良いでしょう。

というのは、私が寝たきりの状態になって何もすることがなく、スマホの画面を見ていたら医療に関する、ある記事が目にとまり、読んでいて「なるほど」と思ったことがあるからです。それは記事を要約すると、今の医療は時に病院に入院すると、本人が痛かろうとどんなに苦痛だろうと、命を助けるためにはどんなことでもするということでした。またその記事には、特にヨーロッパでは日本の安楽死や尊厳死というのはなく、そういった言葉もなく、ヨーロッパの医療などは例えば死期が迫って、食べ物が食べられなくなったら、日本のような点滴や胃ろうや血管注射で命を無理やり長引かせることなく、食べられなくなったら、水を与えたり、痛み止めの苦痛を取り除く自然死をさせるそうです。

そこで私が思ったのは、日本でヨーロッパの人が安楽死や尊厳死を求めて裁判を起こしたという報道をされるのは、完全に安楽死や尊厳死を認めるかという事なんだろうなあと思ってしまいました。

なんだか長々と書きましたが、日本の医療はその人を一人の人間と見ずに、

人間を物として見て、どんなにその人が苦痛を受けようと命を助けることだけを目的にしているのではないかと思うのです。そしてそれは何らかの病気や怪我で私は3年に1度ほど大きな病院に入院していますが、その時もそれを感じてしまいます。

つまり、それは医者や倫理や法律などで命を救済するための治療をしなかったら、殺人罪になるからではないかと思ってしまったのです。

私は安楽死や尊厳死を認めるわけではないのですが、やはり人間の“生きる”とは“生”とは何かとは問わずに、本人がいくら苦痛であろうと治療をし続けるのはやはり、問題だと思うので、1人1人の人が、病院に入院する時には、どこまで治療するかを一筆書いておいた方がよいのではないかと思います。





今年はみんなでマイクで歌ってしまおう！

## ～カラオケ大会のお知らせ～

2017年もあと少しとなりました。この時期は毎年「ためきマスライブパーティー」を行っていましたが、先月も書いたとおり中止となり、かわりになるかどうかわからないけど、「カラオケ大会」を行うことになりました。

夢宙人でカラオケのイベントをやるのは意外にも初…なんだよね、これが。というわけで歌ってよし、騒いでよし、飲んでもよし、食べてよし、語ってよし、からむのはなし、怒るのはなしですよー

食事は「鍋コース」と「洋風コース」が食べられます。

出入り自由で、歌って・騒いで・飲むのが大好きな人集まれー

- ・日 時 12月16日(土) 18:00～(17:30集合)
- ・場 所 カラオケ「JOYSOUND (ジョイスOUND) 富山山室店」  
(グリーンモール山室向かい)
- ・会 費 アルコール飲む人 4,500円  
アルコール飲まない人 3,500円  
小学生以下 2,000円

※参加したい方は12月11日(月)までに夢宙人までお知らせくださいね！

電 話 (076-441-6106 文福内)

メール muchu.jin.55@gmail.com



## 文福総会 記念講演報告 その2

前号に引き続き、京都日本自立生活センター介護コーディネーター渡邊<sup>わたなべ</sup>塚さんの講演内容を掲載します。

「1. 相模原事件について」の続きです。

### ●事件の被害者のことと、偽りの障害者イメージ

さて次に、事件で被害にあわれた方々は、どのような方々だったのでしょうか？

みなさんは、どのような障害の方だったとイメージされていますか？

一般的に報道されていたのは、重度で寝たきりとか、あるいは強度行動障害。施設でしか暮らすのは難しいような人たち。そういうイメージだと思います。容疑者自身が「意思疎通の出来ない者を殺した」と確認しながら犯行を行っていたとも言われています。つまり重度で、意思疎通のできない人たちが狙われた、と。でも、どうやらその報道は嘘でした。

今NHKのサイトに「19のいのち」というのがあります。どんな方々が亡くなられたのかということで、名前は出ていませんが、その人となりや元職員さんやご家族から、ちょっとでも聞き取れた情報をこちらに掲載しているとのこと。このサイト、一度見てもらえたらよいと思います。

これは、一例ですけど、19歳の女性、かわいらしい笑顔で人気者でした。

40歳の女性、食事を美味しそうに食べていました。笑顔に会いたくて、訪れる人もいました。こういうことがいろいろ書いてあります。

65歳の女性、明るく世話好きで洗濯物をたたむのが大得意でした。どこに行くのも先頭でした。

46歳のリュックの女性、お話好きで薄いピンクのパンツに黄色いリュック姿が印象的でした。

なんとなくですね。重度の寝たきりとは、そういうイメージとはちょっと違いますね。

亡くなられた方のこと、ちょっと詳しく新聞記事からの引用で紹介します。元職員さんからの証言です。

「60代の男性は、カブトムシやクワガタなどを捕まえるのが得意で、自宅で暮らしていた頃は、虫取りの名人と近所の方で慕われていた。近くの主婦は、『夏になると「捕れたぞ〜」と、子どもたちに虫を見せてくれた。子供達が笑うと笑顔を返してくれた」と目を細めていた。』

カブトムシやクワガタなどを捕まえて、虫取り名人と近所で言われていて、子どもたちにそれを見せている、そんな方が亡くなられた一人なのですね。

別の方。「同じ施設で暮らしていた別の男性も殺害された。軽作業と散歩をして過ごす生活の中で囲碁と将棋のテレビ番組を楽しみにしていた。お父さんの趣味だったようだ。元職員はテレビをじっと見入る姿を覚えている。眉間にしわを寄せ、電車の車掌さんのものまねをしてみせる愛嬌のある持ち主でもあった。『ドアが閉まります。ご注意下さい。』という声が職員の耳に残っている。」

こういう知的障害の方って、それなりに町の中でも見かけますよね。そういう方々が施設にいき、そして事件の被害者となった。

もちろん障害の程度っていうのは、それぞれ幅があると思うんですけども、少なくとも重度で寝たきりで強度の行動障害があつて云々というのは、メディアや僕らの社会が一般的に持っている偏見からきているイメージを当てはめていたのではないかなと思っています。

被害にあわれた方々は、なぜ意思疎通の出来



ない存在、車椅子に一生縛られている気の毒な利用者ともみなされたのでしょうか？その見方は容疑者に特有なものなのでしょうか？

容疑者が手紙だったり、発言の中で言うことですね。「意思疎通が出来ない人を狙った。」彼らは「車いすに一生縛られている気の毒な利用者だ」。こういう見方っていうのは容疑者に特有なものなのでしょうか。

新聞報道や僕らが一般的に当初抱いたイメージは、ほぼ似たような状態だったと思います。

けっこう重たい人がいて狙われたんだなという。でも今見てきたように、そのイメージは違っていました。何で違ってたかというのがとても大事なことだと思います。

施設に入っている、隔離されていて僕らと違う人間存在と見なされている、というところですね。

また「リロケーションダメージ」ということもあります。施設等に移されることによる心身へのダメージのことです。施設においやられることで意欲を低下するとか、動作が鈍くなるとか、会話がなくなるとか、あるいは人によっては自傷他傷も出てくる。パニックしたり暴れたりもします。「施設病」とも言うかもしれません。希望とかはもってはいけない環境になることで、意欲がガクンと落ちてしまう。

そして、社会的偏見。重度の障害者は入所施設で暮らすのも仕方がない、という固定観念、先入見のこと。

そういうのが重なって、今回の事件の被害者像として、意思疎通の出来ない、施設で暮らすしかない重度障害者達みたいなイメージが出来上がってたんじゃないかなと思っています。

町で会ったらそこそこ一緒に暮らしてる存在のはずなのに、施設に行ってしまうことでそのようなイメージがより強固になってしまってい

る、というのがとても大きな問題だと思います。

### ●匿名報道の背景

次に、被害者の匿名報道について。

匿名報道には、みなさんの中にも憤りを感じておられる方もあると思います。ぼく自身も、事件自体にもショックを受けましたが、その後、被害者の名前は匿名報道にすると聞いたとき、ものすごい辛さを感じました。ああ、亡くなられた方々は社会的に存在することを許されていないんじゃないか、と。

この匿名報道をめぐってもちょっと論争めいたこともあるのですが、それは今はさしおいて、実際、何で匿名になったのか？そのことについて次のような証言が最近出てきています。

津久井やまゆり園の家族会の元会長、小野さんという方。息子が怪我をされて、奇跡的に命が助かった方の親の方なんですけれども、講演記録の中から匿名報道になった背景、それを語っているものがあって、これは知っておいた方がいいのかなと思って紹介します。

「パニックって私が病院に行くちょっと前に、事件当日、次の日とかに家族会の会長や遺族の方もいらしてて、園長が津久井署に電話をしているんです。それが何の電話か後でわかったことですが、そこで匿名をお願いしたいと。遺族の方で最初は2人だったんですが、匿名にしてくれということで警察の方に連絡してるんですよ。最初は2人から始まった。警察はこれまで前例がないので、津久井署は一旦断っていたんですね。それをまた来てる家族みんなで協議して、あらためて再度もう一度園長と家族会の会長が津久井署に電話をして懇願したんです。要するに、遺族の方がどうしても匿名にしたいということなので、お願いできませんかということで津久井署も本署と電話でお話したんですが、『わかりました。』と『今回は特例という

ことで認めましょう。』ということになり、警察の方から各報道関係者に連絡をして、匿名になったというわけです。最初は数名の遺族の強い意向だったということですね。

匿名の理由は、昔から知的障害者が差別されてきた、自分の子供を殺してしまった、家族ごどこかにおいやられた、そんな偏見がまだに取れない。家族はそんな子供を隠しているんです。

私が知っている範囲でも、夫婦でも津久井やまゆり園に一度も来ない人がいるんです。お父さんがお父さんなのに全部お母さんにやらせていて、勝手にしろと、そういうお父さんもいるんです。

それでお墓もそうなんです。障害を持った人が亡くなったときにお墓に入れてくれないんです。これ本当です。私、これ実際に経験したんです。会長をやっている時、『遺骨を持ってどこへ行ったらよいでしょう？』って、夜中に電話がかかってきたんです。遺骨を持って家に帰ったら主人が『なんだそんなもん、そんなもんを持ってきて』って、それをどこかに置いてこなきゃ家に入れない。『もう一緒に帰ってくるな』と言われ『会長さんどうしたらよいでしょう。』これが現実なんですよ。

知的障害者の方の家族の方の自分の子供がかわいいんですけど、それを夫婦でも分かち合えないとか、親戚でも分かち合えないとか、だからしょうがないから隠す人もいるし、表に出すのが嫌だという人もいます。その現状が事件で匿名となるのです。」

家族会側としての思いはこんな感じの部分があったということで、一応紹介だけしておきます。

### ●容疑者は「精神障害者」ではない

次に、容疑者は精神障害者なのか？ということ。もし、あまり事件について追ってない方だった

ら、容疑者は精神障害者だったと受け止めているかもしれませんがね。容疑者は一応精神病院に入院して、なんとか病とか診断を受けました。それで措置入院となりました。それによって事件は、精神障害者が起こしたものとみなされ、現在、精神保健福祉法を改正しようという動きになっています。精神障害者が起こした事件で、精神障害者をきっちり見てられなかったから、事件を防げなかったということでした。

完全に間違ったストーリーが描かれてるんですね。

まず容疑者自身は鑑定によって、起訴できるかどうかということの鑑定において、精神障害とは認められなかった。言われてたのは、人格性パーソナリティ障害。人格性パーソナリティ障害は精神障害ではなくて、際立った性格の一種。アメリカの精神医学会で名前がつけられたものですが、精神病の範疇（はんちゅう）ではないです。なので精神病とはこの事件は関係ない。

むしろ、容疑者の側のことよりも、精神科のあり方や措置入院というシステムこそ、大きな問題じゃないかと思います。

診断した精神科医自身が、そもそも、診断してはいけなかった。資格を持ってなかったと、あとから言われているんですけれども、その時の診断も本当に適切だったのかどうか、そして、措置入院という判断が適切だったかどうかことが、ほとんど問題にされていません。

あとから、鑑定で精神病じゃないと判断されてるのに、なんで措置入院させたのか？それが言われていないというところに、大きな問題があります。

そもそも、措置入院自身が人を孤立化させ、絶望に陥らせる可能性があります。孤立化して人や社会と関係を断たれ、社会を恨むようになる。そういう側面が結構あるものです、強制入

院。なぜそういう措置をとってしまったか。

そもそもなぜ警察が動かなかったのかとか、そういう部分での大きな問題があります。そこら辺は、全部無視されて、今回の事件は精神障害者の所業だという間違っただけの国の対応に今なっています。

一応、精神保健福祉法改正案、今回の国会では通らない見込みとなったんですが、とても大きな問題を残しています。

### ●津久井やまゆり園の今後の動き

最後に、津久井やまゆり園の今後の動きについてです。

津久井やまゆり園の今後の動きとしては、あの施設自体も使えないので、立て替えるかどうかという話があります。

家族会の意向を受け施設を全面的に建て替えると、9月の時点で、神奈川県知事が言ったのですが、当事者団体とかから、そもそも施設に入っていることが大きな問題なわけで、施設再建というのはノーマライゼーションや障害者権利条約の精神から大きくそれる。また、建て替えてそのまま又みんなが施設に入ることともどうなのか。もうそこに住みたくない人だってもちろんいるわけだし、「そこで暮らすのが怖い」とか、「もうやまゆり園嫌だ」と言っている人も確かにいて、そういう気持ちもあるんだから、そのまま施設を建て替えるんじゃなくて、地域で暮らせる人は地域で暮らすようにしていこうという声が結構上がって、一旦大規模入所施設をそのまま再建する方向では再建しないという方向になりました。が、ここでも残念ながら家族会との意見の対立があって、家族会は「当事者団体はこの事件を利用するな。私たちは元の施設に戻してほしいだけだ」という意見の方もおられます。

一方、家族会といっても全然一枚岩ではなく、

地域で自立して暮らせるんだったら、その可能性も考えていきたいという親もいるようです。

東京でこの間、知的障害者の自立生活についてシンポジウムがあったんですけど、やまゆり園の保護者も参加されていて、地域生活の可能性も考えていたということで、「施設ありき」と家族のみんなが考えているわけではないです。

(次号は「II. 障害者の地域自立生活のこと」に続きます。)



## 運営会議報告 10 月 24 日

### 《各部の報告》

- 学 習 会       今回はまだ予定はありません
- 障 害 者 部 会   10 月は 2 回実施。相模原事件追悼式についてのピラ配りについて話し合った。10 月 4 日 NPO 法人かもめのノートであいの風鉄道と介護研修を実施されたので、結果を聞いてからどうするか次回の会議で報告する予定。
- 介 護 人 派 遣 事 業  
      ザカイジョ、現時点で実習を残してはいるが今年度は無事に終了。第 2 回は参加人数が少なく残念だった。今回は理事長が首の捻挫により急遽、代理で副理事長が講義を行ったこともあり、このように代理を余儀なく頼まなければならない場合は資料等作成等対応をどうするか検討が必要。
- レクリエーション  
      ためきマスは出演者がそろわず今年開催は断念。12 月に代わりのイベントを開催するかはこの後の夢宙人会議で決める予定。
- ニュース       只今編集中で、印刷は今週の金曜予定となっています。
- ま っ ち       原稿募集中。テーマは「眠り」。〆切は 12 月末。  
      発行は 1 月予定。

### 《相模原事件追悼式についてのピラ配りについて》

配るピラの内容やピラ配りの協力を各団体に呼びかけるために作成した文書について話し合った。

### 《その他》

- 11 月 28 日にサンフォルテ主催の DV 防止の研修講座が、テーマは「ストーカーは何をを考えているか」で行われる。参加希望のスタッフは事務局まで連絡下さい。
- かちゃ熱実行委員会が主催の「かちゃ熱ライブ」というイベントで事前研修として車椅子講習会が 11 月 4 日にあり、職員の 1 人が参加予定。文福の車椅子を 1 台貸し出す。
- DPI の政策討論会が 12 月 2, 3 日にある。2 日目が相模原障害者殺傷事件のような事件を二度と繰り返さないために何をすべきか、というテーマで全体会があるので関心のあるスタッフは連絡下さい。締め切りは 11 月 17 日。

次回の運営会議は 11 月 21 日です。

報告者：松岡



## ◆今後の予定◆

このコーナーでは、文福と他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

### ◎ 「社会福祉法人フォーレスト八尾会 おわらの里開所20周年記念式典」

日時 12月10日(日) 9時30分～ 受付は9時

場所 八尾コミュニティーセンター ホール

内容 9:30 おわらの里開所20周年記念式典

10:00 記念講演会 金澤泰子氏「共に生きる」

金澤翔子氏 席上揮毫(きごう)

※揮毫とは、毛筆で文字や絵をかくことを意味します。

13:30 映画上映会「真白の恋」

監督 坂本欣弘さん(富山市出身)による  
トークショーがあります。

※11:00～14:00まで催事場で「飲食ブース」と「販売ブース」が開かれます。

11:30～ミニステージ

富山国際大学子ども育成学部と、おわらの里のゆかいな仲間たちによるステージ発表があります。

主催・問い合わせ 社会福祉法人 フォーレスト八尾会  
20周年記念事業事務局  
TEL(076)454-2117

### ◎ 夢宙人カラオケ大会

日時 12月16日(土) 18:00～(17:30集合)

場所 カラオケ「JOYSOUND(ジョイサウンド)富山山室店」  
(グリーンモール山室向かい)

会費 アルコール飲む人 4,500円

アルコール飲まない人 3,500円 小学生以下 2,000円

主催・問い合わせ 夢宙人 TEL(076)441-6106

メール muchu.jin.55@gmail.com

◎ 「ともに、耀く」多様性のある社会へ～

日 時 12月17日(日) 13:00～14:30

場 所 サッシップとやま 1階 福祉ホール

ゲスト 奥山 佳恵さん(女優)

宮袋 季美さん(NPO法人 ふらっと理事長)

主催・問い合わせ NHK富山放送局

TEL (076) 444-6610 (平日のみ)

※当日は手話通訳・要約筆記があります。

◎ クリスマス&もちつき会

日 時 12月23日(土) 10:00～14:00

場 所 NPO法人 ふらっと

参加費 200円(3歳未満無料) ※ボランティア募集中(随時)

ゲスト 富山ダルク「海岸組」

主催・問い合わせ NPO法人 ふらっと(0766-56-6661)

◎ もちつき大会

日 時 1月下旬予定

場 所 文福事務所

参加費 無料

主催・問い合わせ 夢宙人 TEL (076) 441-6106

メール muchu.jin.55@gmail.com

★文福事務所からのお知らせ

事務所年末年始休業は12月28日(木)～1月4日(木)まで。

1月2日(火)は文福食堂を休ませていただきます。

よろしく申し上げます。

## ニュースの視覚障害者の方へのメール配信再開のお知らせ

この度、一旦お休みしていた視覚障害者の方へのニュースのメール配信を再開しようということになりました。

文福の月刊誌、「障ちゃん」ニュースを紙媒体ではなく、メールにて配信する形となります。ご希望の方がおられましたら、下記までご連絡下さい。

前回メール配信をさせていただいていた方も改めて連絡をいただけたら幸いです。

このメール配信を通じて、より多くの方々に文福のことを知ってもらい、様々な情報を発信していきたいと考えています。またこれが、今の形だけではなく、違った方法での発信を模索するきっかけになっていければと考えています。

今後とも「障ちゃん」ニュースを宜しくお願い致します。

### 問い合わせ・連絡先

## NPO法人 文福

〒930-0887 富山市五福3734-3

e-mail: [bunpuku@arrow.ocn.ne.jp](mailto:bunpuku@arrow.ocn.ne.jp)

HP: <http://bunpuku.org/>



TEL/FAX (076) 441-6106



### ありがとう & 編集後記コーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお祈いします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

月日は早いものでもう12月です。12月と言  
えば、師走ですねえ。忙しい月にはなりますが、  
皆さんマイペースにいきましょう。良いお年を  
ー。

#### \*新規会員・継続会員\*

水野 渡さま

#### \*カンパ\*

水野 渡さま 河上千鶴子さま

#### \*物品提供\*

瀬戸 紀美子さま 下伏 玲子さま 井上 俊子さま 小池 敏子さま  
宮崎 奈美子さま NPO法人ゆめさぽーとらいちょうさま 上田 孝子さま  
NPO法人ふらっとさま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

ぶんぷく

編集人：特定非営利活動法人 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3

e-mail: bunpuku@arrow.ocn.ne.jp

HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 441-6106

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。

一九九四年八月四日第三種郵便物承認  
工  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百